

授業科目名称 : ソーシャルワークの理論と方法（精神）Ⅱ 授業コード : 52620

授業科目英文名称 : Social Work Theory and Methods (Mental Health)
II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	選択
担当教員			
足立孝子（実務経験のある教員）			
展開方法	講義		
ナンバリング	DE303		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	精神保健福祉士の専門性と倫理について説明することができる。	定期試験	50%
情報収集、分析力	精神障害者の歴史と動向に関する資料から、現場における課題について適切に指摘することができる。	課題レポート	15%
コミュニケーション力	授業内で自分の意見を積極的に伝えることができる。	グループ発表	5%
協働・課題解決力	精神障害者の人権について、グループでディスカッションすることができる。	ディスカッション内容	15%
多様性理解力	精神科ソーシャルワークのアプローチについて説明することができる。	課題レポート	15%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	この授業の目的は、精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史について学び、精神障害者が地域で主体的に生活するための具体的実践の方法を知り行うことができるようになることを目的とし、次の3点を授業のねらいに据えている。 ① 精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。② 個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。③ 精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。 また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について具体的に学ぶことも重視する。			
アクティブラーニングの類型	①⑤⑥⑩			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験は50%で、精神保健福祉士の専門性と倫理について、自らの意見を正確に説明することができるかを評価する。課題レポート30%では、精神保健福祉の歴史、および精神科医療の課題について説明することができるかを評価する。レポート課題は、授業内で提示し、ポートフォリオにて提出する。さらに、グループ発表5%、ディスカッション内容15%で評価する。すべての提出物は、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。			
授業概要	精神障害者福祉の理念と精神障害者の人権、精神保健福祉の歴史と理念、精神科ソーシャルワークの歴史などについて概説する。授業では、学生には意見を求めたり、議論してもらったり、またグループワークを活用しながら、授業内容の理解を深める。また、精神保健福祉法や障害者総合支援法の復習も適宜行う。担当教員は、精神保健福祉士として精神科病院でカウンセリングや医療相談、ソーシャルワークなどで精神科ソーシャルワークの実務経験があり、その経験に基づき授業を展開する。レスポンス等を活用し、学生のコメントに対しは、適宜対応する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：最新・精神保健福祉士養成講座「ソーシャルワークの理論と方法（精神専門）」中央法規 参考書：授業内で指示する。 指定図書：授業内で指示する。			
授業外における学修及び学生に期待すること	授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。 精神障害者の現状を踏まえ、支援のあり方やソーシャルアクションについて考えてほしい。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	オリエンテーション	授業の概要、進め方、評価等を確認する。 ソーシャルワークの理論と方法（精神）Ⅰの授業を振り返る	復習：配布資料を読んで授業を振り返る。
	2	ソーシャルアドミニストレーションの展開方法①	ソーシャルアドミニストレーションの概念とその意義について学ぶ	予習：教科書第7章第1節を読む。 復習：配布資料を再読する。

3	<u>ソーシャルアドミニストレーションの展開方法②</u>	組織と精神保健福祉士の関連性について学ぶ	予習：教科書第7章第2節を読む。 復習：配布資料を再読する。
4	<u>ソーシャルアドミニストレーションの展開方法③</u>	組織介入・組織改善の実践モデルについて学ぶ	予習：実践モデルについて調べる。 復習：実践モデルをまとめる。
5	<u>ソーシャルアドミニストレーションの展開方法④</u>	組織運営管理の実践について学ぶ	予習：教科書第7章第3節を読む。 復習：展開過程をまとめる。
6	<u>コミュニティワーク①</u>	精神保健福祉分野におけるコミュニティワークの意義について学ぶ	予習：教科書第4章第1節を読む。 復習：配布資料を再読する。
7	<u>コミュニティワーク②</u>	地域における精神保健福祉の向上について学ぶ	予習：教科書第4章第2節を読む。 復習：配布資料を再読する。
8	<u>個別支援からソーシャルアクションへの展開①</u>	基本的視点について学ぶ	予習：教科書第5章第1節を読む。 復習：配布資料を再読する。
9	<u>個別支援からソーシャルアクションへの展開②</u>	個別支援から地域における体制整備について学ぶ	予習：教科書第5章第2節1、2、3を読む。 復習：配布資料を再読する。
10	<u>個別支援からソーシャルアクションへの展開③</u>	個別支援から地域における体制整備について学ぶ。地域包括ケアシステムについて学ぶ	予習：教科書第5章第2節4を読む。 復習：配布資料を再読する。
11	<u>個別支援からソーシャルアクションへの展開④</u>	政策提言・政策展開について学ぶ	予習：教科書第5章第3節を読む。 復習：配布資料を再読する。
12	<u>個別支援からソーシャルアクションへの展開⑤</u>	精神障害者の地域移行・地域定着に関わる展開について学ぶ	予習：教科書第5章第4節を読む。 復習：ソーシャルアクションへの展開をまとめる。
13	<u>関連分野における精神保健福祉士の実践展開①</u>	学校・教育分野・産業分野における精神保健福祉士について学ぶ	予習：教科書第8章第1節第2節を読む。 復習：配布資料を再読する。
14	<u>関連分野における精神保健福祉士の実践展開②</u>	司法分野・災害分野における精神保健福祉士について学ぶ	予習：教科書第8章第3節第4節を読む。 復習：配布資料を再読する。
15	まとめ	全体を振り返り、学びを深める	定期試験に向けた準備と復習を行う。
16	定期試験		